

図書館通信

— 20/21 —

1973. 4

ライブラリー・オリエンテーション
Library Orientation



- 期 間 4月16日(月)～21日(土)
- 時 間 第1回 11:00～
第2回 13:30～
第3回 15:20～
(但し 土曜日は第1回目のみ)
- 所要時間 毎回40～60分
- 内 容 図書館案内(書庫内見学も含む)
利用案内 他



図書館が諸外国と比べて日本では、あまり利用されていないことの原因が論じられる時、よく言われることがあります。それは、日本ほど本屋の多い国はない、そのため図書館へ行くより、まず書店に駆け込んでしまうということです。

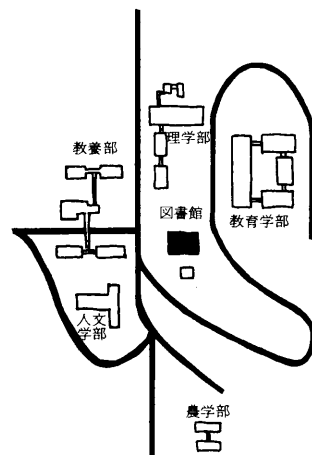
図書館と本屋とは、本の利用者を奪い合うという点で同列なのでしょう。確かに“本を提供する”という共通の基盤に立つ両者ですが、本屋は提供してしまえばその役割は終わってしまうと言えます。しかし、図書館の場合、過去何十年かにわたって蓄積保存した資料を利用者の必要に応じて適宜提供し、と同時に、別の役割をも果たしているのではないかと思います。その役割は、図書館の利用のしかたやどんなサービスを受けられるかを知らせ、教育機関を出た後も、図書館を身近なものとして活用してもらうということではないかと思います。

ここ静岡大学にあっては、図書館は、全学の利用者の便を考えてキャンパスのほぼ中央に位置しています。総面積約4000㎡の内に約237,000冊の図書と2,400種の雑誌・紀要類が所属されて、約600席の閲覧席が設けられています。他の大学図書館一般がそうであるようにこの四角な建物が果たすべき機能として、図書館資料を管理し、職員ならびに学生の調査研究に資することと謳われています。これは、つまり、大学の教育・研究活動を側面からアシストし、同時に総合的教養の場として様々な有用な資料・情報を提供するということでしょう。

そこで新入生諸君に四年間の図書館とのコンタクトの第一歩としてLibrdry Orientation を企画しました。できる限り参加されることを希望します。

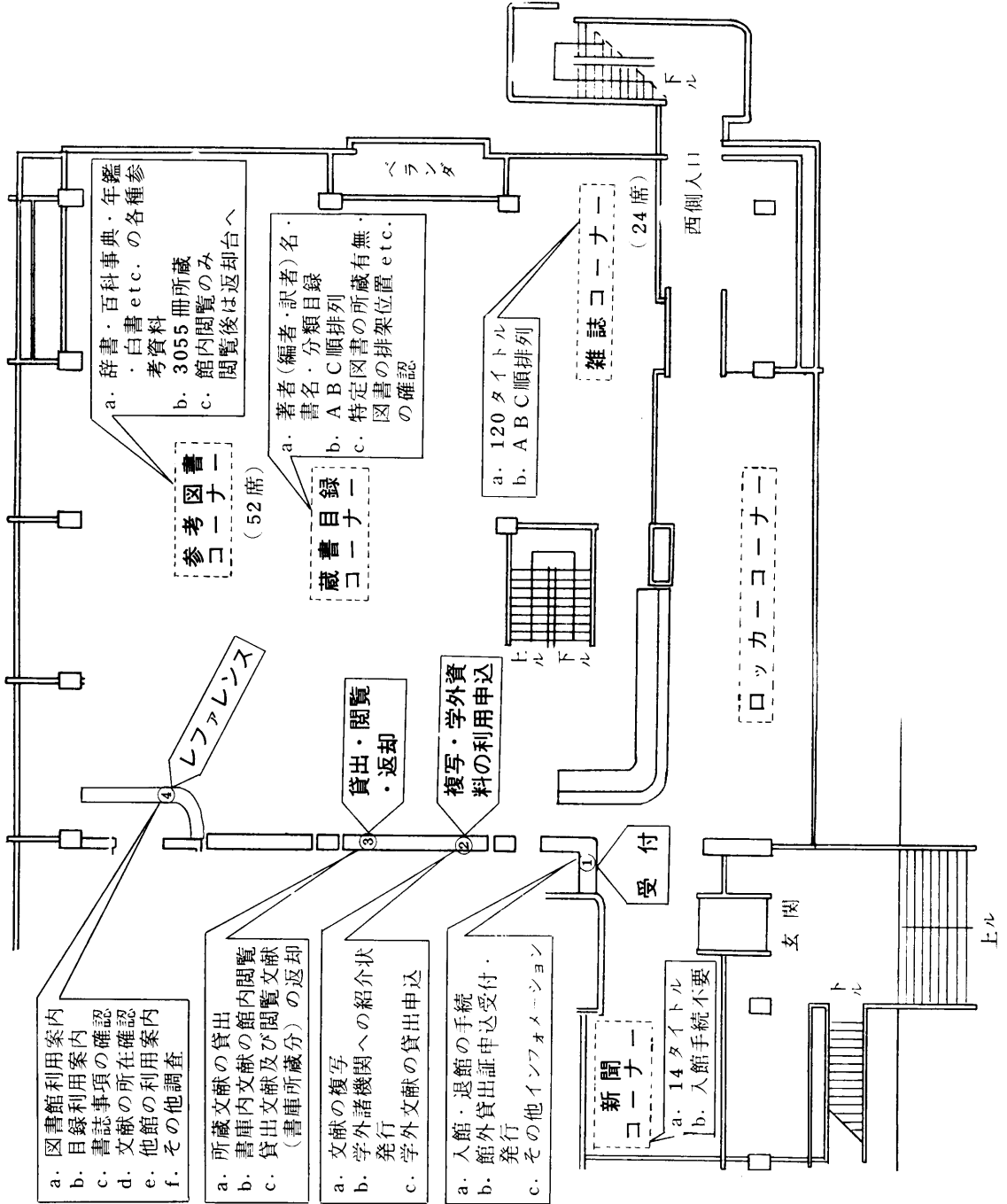
もくじ

- Library Orientation …… 1~4
- 私のすすめたい本 …… 5~6
- 漢籍整理講習会に参加して …… 7
- Q & A …… 8
- お知らせ …… 8
- 附属図書館委員会報告 …… 8
- 東部地区図書委員会報告 …… 8
- 人事異動一追加一 …… 8

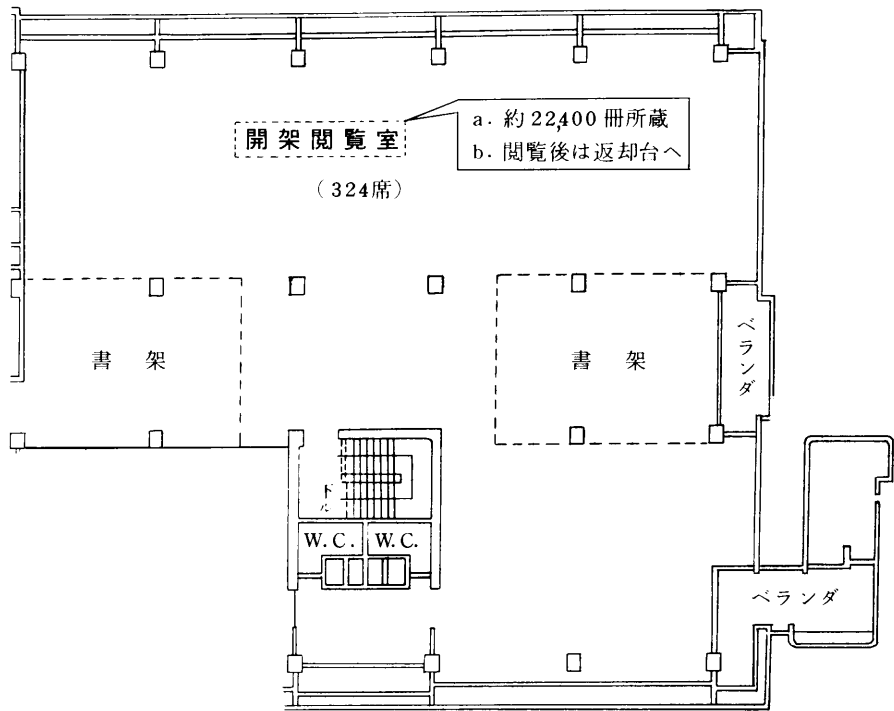




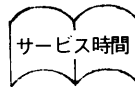
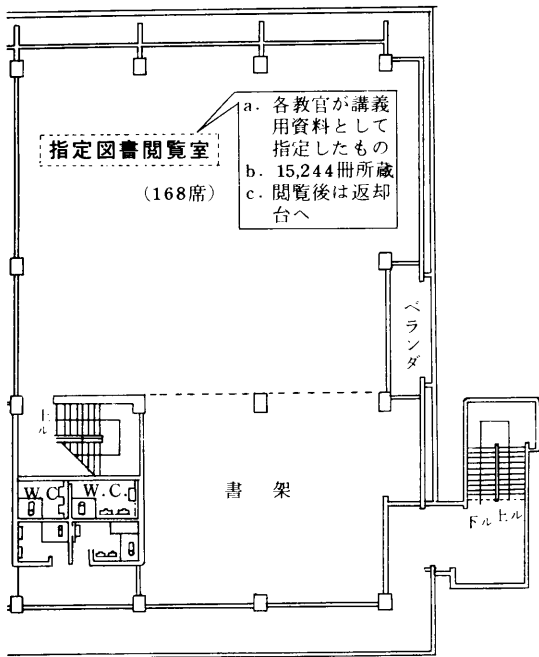
3 階



4 階

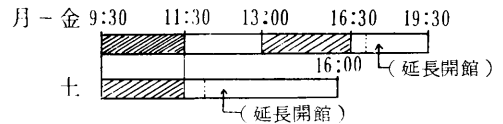


2 階

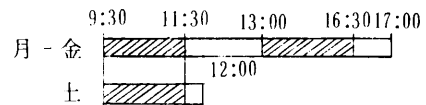


開館時間・窓口受付時間

a. 試験期（9月、12月）



b. 試験期以外



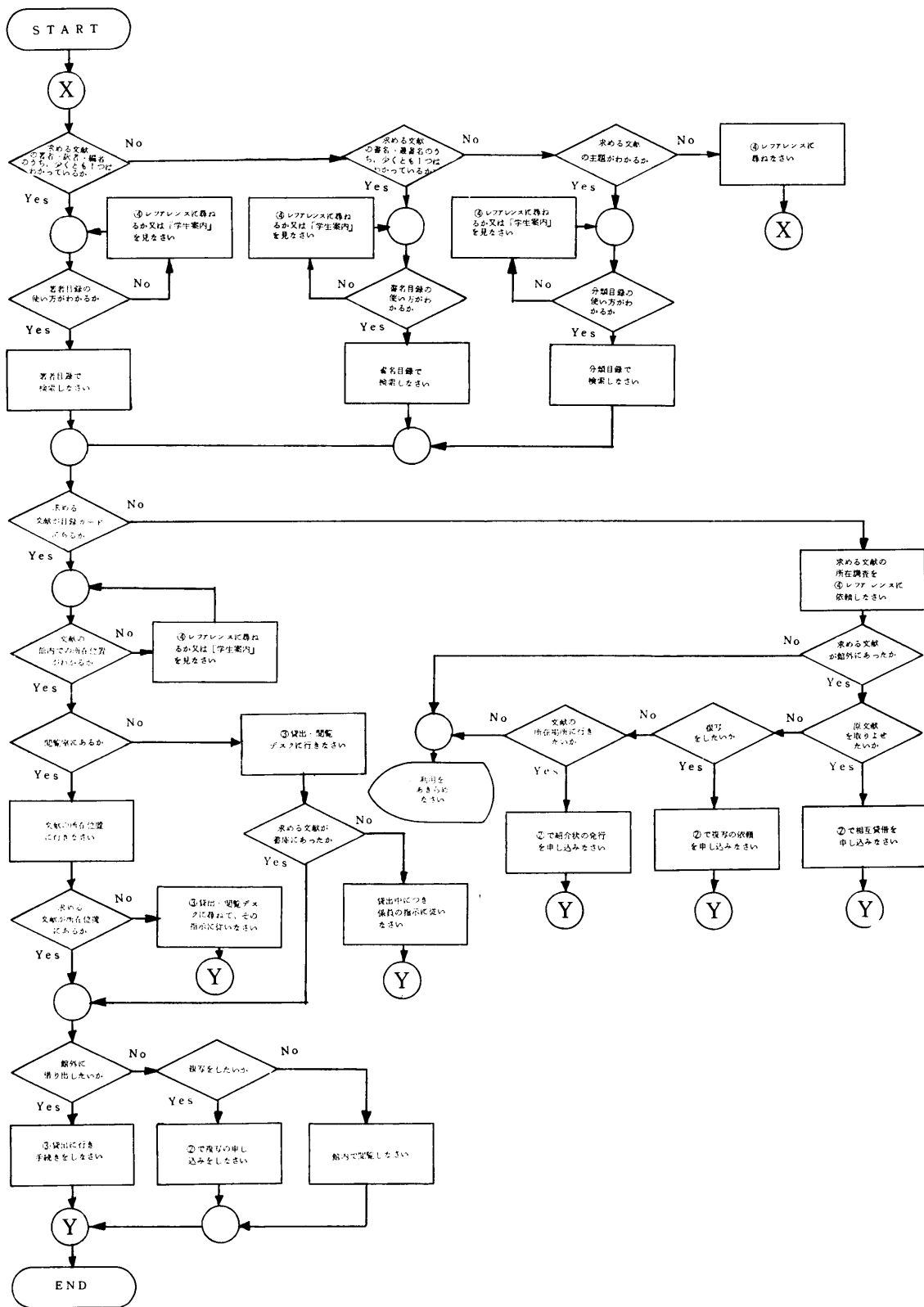
(注) ①番受付、②番複写・学外資料利用申込、③番貸出・閲覧・返却、④番レファレンスの業務を行っている時間帯。
 ①番受付、③番返却の業務のみ行っている時間帯。

c. 休館日

日曜日・祭日・本学創立記念日（6月1日）
 その他図書館業務上必要な時（「図書館通信」・掲示等でお知らせします）

検索法

文献へのアプローチの一例（雑誌や新聞の収録記事・論文は除く）



私のすすめたい本

学問の巨峰の前に、その雄大さ、裾野（関連分野）の広さ・複雑さに当惑することもあるでしょう。またその成立基盤でもあり、研究成果から影響を受けるといったサイクルの一環を担う社会的背景・構造も、無視できないでしょう。そこで今回の“私のすすめたい本”には、新人生諸君への推薦図書を教養部の先生方から挙げて載せました。興味を引いた書物から繙き、学問への挑戦を始めて下さい。

江川 龍起（教養部 生物学 助教授）

① 先ず始めに、大きくてしっかりした国語辞典と英語辞典とを座右に揃えることをすすめる。諸君の専攻分野に従って各種の小辞典や小図鑑—生物学であれば❖学生版牧野日本植物図鑑（北隆館）など—を手もとに揃えるのもよい。大冊の百科辞典などは図書館のものを利用すればよいが、それも実際に手にとり、使い馴れるようにしてほしい。

❖② Carson, R. L. 著 青樹築一訳「生と死の妙薬」新潮社 1964

自然環境破壊の問題は今日では誰もが承知しているが、僅か十年程前にこの本が警世の書として現われたことを考えると、いろいろと教えられることの多い本である。原本❖SILENT SPRINGも教養部生物学教室の野津教授遺贈図書の中にある。

❖③ Watson, J. D. 著 江上不二夫、中村桂子訳 「二重らせん」ライフ・タイム・インターナショナル社 昭43

分子生物学の里程碑の1つとなった著名な業績の回想録である。なかなか面白く、青年の野心をかき立てる本であると思う。

❖④ Gabriel, M. L.・Fogel, S. 編 「GREAT EXPERIMENTS IN BIOLOGY」丸善 昭34

生物学や農学を志す学生に生物学を概観し、また論文を読む練習をするという意味ですすめる。分野別の年表や解題も参考になろう。

岡野 恒也（教養部 心理学 教授）

心理学がめざすところは、結局は人間とは何かということである。その一つの道として、動物の

側から人間へ接近しようとする立場がある。ヨーロッパやアメリカでは、こういう立場に立ったすぐれた人間論が書かれているが、日本ではそれが全くなかった。それが、昨年、ようやく日本人の手になる、はじめての比較心理学的人間論が世に出た。

❖石原静子著 人間とは何か 明治図書 1972

著者の石原氏は、かつて私が東京教育大学の比較心理学研究室にいた頃、いっしょに動物を使って心理学の研究をした人で、現在は和光大学の教授である。難解な心理学の本ではなく、エッセイ風に書かれた人間論で、静かに語りかける口調で、読者に人間とは何かという問題を考えさせてくれる。著者は、哲学的な人間論は“思想百科事典”にでもまかせておこう。ここで述べるのは、比較行動学（エソロジー）の立場に立った人間論だということわっている。認識、言語などから、遊びや性の問題にいたるまで、ユニークな考えが展開される。およそ人間に関心を有する人、すべてに読んでもらいたい本である。

中 木 堅（教養部 ドイツ語 教授）

「私のすすめたい本」ということですが初めて外国語を学ぶ場合、ここではドイツ語になりますが先づ気になるのは辞書、参考書等であろうと思います。このことに就いてはそれぞれの担当教官から詳細に又は簡単にお話があること、思いますから省略しておきましょう。ドイツ語の勉強といいますが孤立無援、孤軍奮闘といった心細い気持ちになるかも知れません。筆者も学生時代初めてドイツ語に接した時、上記のような気持ちになったことを覚えています。ご承知と思いますが学者の研究によりますとヨーロッパの言語は親類関係つまり独・英語は兄弟関係にあると言います。したがって互いに似ている単語が沢山あります。例えば Father - Vater, Mother - Mutter, Come - Kommen というようにです。ですから学生諸君が得意とする英語の知識をドイツ語の学習に利用、応用すればドイツ語の勉強もはかどるのではないかと思います。ところが世の中は思うようにならないものでして間違っても応用、利用することもありますからこの点用心する必要があります。仰々しい本よりも寝ころびながら又床の中でも読めるものを一冊紹介しておきましょう。藤田五郎「ドイツ語のすすめ」講談社（現代新書）。ドイツ語のアウトライン或いは特長、要点といったものが二ツ、三ツ位は何となく分って

来るのではないかと思います。最後に誰でも知っている古人の言葉を識しておきましょう。初心忘ル可カラズ。カンナンシンクナンジヲタマニス。

平 沢 彌 一 郎 (教養部 保健体育 教授)

(1) 塚本虎二訳 「福音書」(文庫版)岩波書店 昭38

教会の伝統に捉われず、厳密な学問的立場に立ち、しかも誰にもわかるように細心の工夫をこらした我が国はじめての個人訳聖書が遂に完成した。それがこの「福音書」である。

古代思想の源流をその泉から求める意味において本書をすすめる。

いまから25年ほどまえ、当時学生であったわたしは、塚本先生から「きみ、聖書を読まないことは自分の名前が書けないこと以上にはずかしいことなんですよ」と言われた。「これは大変だ」と思ってその日から読みはじめた。三日坊主の天才的素質をもつわたしがとにかくこんにちまで一日も欠かしたことがない。もちろん教会にもどこにもゆかない。毎朝すこしずつ(3分ぐらい)ひとりて静かに読んでいる。本書はこんな人間の友となるような「力」があるように思う。

新入生諸君、本の選択は友人のそれよりもむずかしいと思う。息をひきとる瞬間まで友とするような事は、ただ一冊であって二冊以上あってはならないように思う。その一冊の本えらびのために大学生活を棒にふってもわたしはけっして損ではないと思う。

南 利 明 (教養部 法学 講師)

❖(1) Mitteis, H. 著 林毅訳 「自然法論」創文社 昭46

我々は法律に対して、それがただ法律であるというだけで従わねばならないのか否か、又、我々の行動の準則は、国家によって制定された法律に限られるのか否か、といった問題は、ギリシャ以来、法学者や哲学者によって議論されてきた問題ですが、それは、今日においても、法律家のみならず、全ての人々によって常に新たに問なおされるべき問題であるといえましょう。というのも、本来「正義」を目指すべき法が常にそうであるとは限らないのですから。

ナチズムに対する深い反省にもとづいて、ミッタイスは、権力者にフリーハンドを与える実定法への盲目的服従に警鐘をならし、場合によっては、それに対する抵抗が我々の義務である、

と主張しています。

❖(2) Sophoklēs 著 呉茂一訳 「アンティゴネー」 岩波書店 昭36 (岩波文庫)

法律への服従と拒否をあつかった文学作品は、古くから数多くみられますが、この有名なギリシャ悲劇には、法律に対する全く相異なる二つの態度が典型的な形でえがかれています。

❖(3) Camus, A. 著 白井健三郎訳 「正義の人びと」新潮社(カミュ全集) 昭47

主人公、カリヤーエフに託したカミュの「中庸の思想」に同意するしないは別にして、法と正義と革命と、そして愛に関心をもつ全ての人々は、この戯曲の一読をすすめます。

渡 辺 安 夫 (教養部 哲学 教授)

❖(1) 西田幾太郎著 「善の研究」(岩波文庫) 昭45

「意識現象が唯一の实在である」というある章の見出しが示すように、いわゆる観念論の立場で終始一貫しています。日本の多くの青年たちがこの本を熱狂的に読んだのは、もはや過去の事実でしかありませんが、「この日本の代表的な哲学書をどのように読むか」、それは、いまもわたしたちひとりひとりの課題であるように思われます。

❖(2) Descartes, R. 著 落合太郎訳 「方法序説」(岩波文庫) 昭45

自分自身の疑問をとことんまで追求し、すべてを根底から問い直そうとしたデカルトの態度が、わたしたちの心をゆさぶります。いま、ヨーロッパ近世は憧憬の対象から再検討、批判の対象になりつつあるように思われますが、それにも拘らずこの近世哲学創始者の本がよく読まれる理由は、そこにあるように思います。

❖(3) Marx, K. H.・Engels, F. 著 花崎卓平訳 「ドイツ・イデオロギー」(岩波文庫) 昭47

「主観」に対する「客観」のように対立概念を基にしてものごとを考えるのは、ヨーロッパの、特に近世以降の思考法の特徴の一つですが、この本には「自然」に対する「歴史」についての著者たちの基本的な考え方がよく示されています。

上記の本は三冊とも解説書ではありません。はじめは難解であるかも知れませんが、いつも手許においてくり返し、くり返し、熟読玩味することをすすめます。解説書は原本をよく理解するための手段でしかありません。

「漢籍整理講習会」に参加して

下村 一夫

第1回漢籍担当職員講習会が、文部省と東京大学東洋文化研究所附属東洋文献センターの共催で、昨年11月27日から6日間にわたって、東京大学で行なわれた。この講習会の報告と感想である。

古くから中国文化の影響を受けた我国には膨大な漢籍が所蔵されている。近代に入っても積極的に漢籍を蒐集してきたが、中華人民共和国成立以来漢籍の輸出が禁止されたため、古書の線装本は入手できなくなっている。そこで、我国にある漢籍を保存し、その所在を明確にして利用に供するために、その整理法を伝授しようというのが、この会の狙いである。

独自の体系をもち発展してきた漢籍にはそれぞれ特有の整理法があるが、現実にはそれを顧慮しないで整理がなされている。講師の一人である長沢規矩也氏は「およそ目録のとり方、分類のしかたは、利用者を考えなければいけない。この点において、戦後のわが図書館界における整理法ははなはだ遺憾であるといいたい。利用者不在ではあるまいか」と現状の在り方に不審を投げかけ、「漢籍はシナ学専攻者の共通の知識を生かした整理でなくてはならない」(1)と述べている。この認識は各講師においてもニュアンスの相違はあってもほぼ共通のものである。この整理法の基本点は、目録記述は書名主記入、分類は四部分類である。特に経部、史部、子部、集部と区分される四部分類法は、中国の伝統的な分類法であり、漢籍の体系に概ね合致していて分類や利用にも便利であると強調され、講習会が全日程はこの習熟に費やされた。四部分類をそのまま適用することは、今日の状況にそぐわないので適当な修正を施し、それに叢書部と新学部を付け加えて使用する。分類の対象として主に説明されたのは旧学であって、新学は四部分類の対象から除外し、新学部として独立させている。この新学の分類は現在ある分類(NDC、UDC等)を用いる。四部分類の各部の外延と内包の概説がなされて、その整理への採用を促した。

一般に知られていなかった伝統的な漢籍整理法の基本点を明確に打ち出し、適確な指導によって講義されたのは、真に有意義であり、時宜を得たものであった。ここで気付いた疑問や問題点についてあげてみる。この講習会の講義が、現在図書

館界が採用している整理法との差異を十分に埋める討議がなされた上で行なわれているのか否かという点にある。一方にNCR、NDC等の講習会がなされ、又他方で漢籍とはいえ別の整理法を教授するというのは、現場にいるものには困惑を覚える。漢籍は一般図書とは異質なものであるから、普及している整理法では難点があるといって別箇に整理を行なって、図書館の資料の統一性がどうなるか、問題となろう。もっとも、四部分類の採用は個々の図書館、研究所に所蔵される漢籍の量と質と整理スタッフの力量を考慮されるべきであり、一律になされるべきではないと留意されたが、どのような対策があるかは殆んど示されなかった。断片的に一案として出されたのが、少量の漢籍を所蔵している所ではNDC分類であっても一個所に集めて供覧すれば有効であろうとのことであったが、それは本館では既に行なっている。

四部分類法は漢籍の造詣が深く、経験が豊かでないとなし難いものであって、素人にはそれを一朝一夕に把握し、駆使することは困難である。それ故、漢籍の整理にそれが有効であることが理解できても、現場の状況からみてなかなか採用しにくいものである。なぜなら、現場は現在推積する図書の処理対策に忙殺されていて、研修を重ねる余裕がないからである。だから、有効な解決法を求めているのに、四部分類の採用、書名主記入などの事柄を自明な前提として講義されたのには異和感を覚えた。考えてみれば、所蔵漢籍が少なく、稀覯書の購入の極めて稀な所では、京都大学人文科学研究所や内閣文庫等の漢籍所蔵目録を参考にして整理すれば、別に困難なことではないかもしれない。しかし、漢籍の内容把握もなく、ただ単に照合させていく作業が望ましいか否か、問題であろう。

いずれの講習会も同様であるが、この会も講師と受講者、受講者間の考え方、知識と経験の差違があり焦点が合わなかった。例えば、初心者には基本的な目録法や分類法の作業の仕方が問題となるのに、講師は版の異同の見分け方、書誌的判断などの高度な技術を講義するといった具合である。講習会の開催以前に、受講者の知識と経験の程度や意見を具体的に調査し、焦点を何処に置いて講義するかを決めて行うことが必要であると思う。そうでなければ散漫で、実のないものに止ってしまう。今回もその点は無きにしもあらずであった。講義だけでなく具体的諸例や実習に基づく講習会であれば、更に有意義なものとなるであろう。
(次ページへつづく)



レファレンスの窓口から

このQuestion and Answerは過去一年間、レファレンス係に寄せられた質問とその回答をピックアップしたものです。この様な、疑問や質問をお持ちの方は、遠慮なくお尋ね下さい。口頭でも、電話でも結構です。(内線276)

1. 画家ターナーの絵を展示しているテイトギャラリーの原綴りを知りたい。
Encyclopedia of World Art. Tate Gallery.
2. 日本の帝国大学の創設はいつか。
教育学事典 明治19年3月2日
3. PCBの性質と構造式について。
国立国会図書館雑誌記事索引 「科学朝日」 vol. 31, no. 6, P. 51-6 参照
4. スイス憲法の条文を見たい。
日本の参考図書 衆議院法制局「和訳各国憲法集」参照
5. 地中海の集落・村落に関する文献はないか。
地理学文献目録2-4集参照
6. 脳性小児麻痺の略称C Pの綴りを知りたい。
常用医語事典 Cerebral Infantile Paralysis.
7. D-MAP Systemとは何のことか。
現代用語の基礎知識 電通マーケティング・広告計画システム
8. 大学生中の女子の占める割合について最近の数値を知りたい。
日本統計総索引 文部省「学校基本調査報告書」参照
9. フランクとヘルツのノーベル賞授賞記念講演の原文を見たい。
Subject Guide to Books in Print Nobel lectures, physics, 1901-1962. vol. 2 参照
10. MSA協定について知りたい。
現代用語の基礎知識 「日米安保条約全書」参照

(前ページよりつづく)

私はこの会に参加したお蔭で、漢籍の奥深さを垣間見ることができて幸いであった。これを契機として漢籍にも親しんでみたいものである。

- (1) 長沢規矩也「漢籍整理法」テキスト (図書館員)



おしらせ (本館)

- (1) 春季休暇中の休館について
農学部分館統合に伴う受入作業及び事務室移転のため下記の期間休館いたします。
3月15日(木) - 4月10日(火)
- (2) 館内の模様替えについて
事務室・書庫の増築完成まで、事務室の一部が下記の通り移転いたします。
館長 従前(3階) 内線 270
事務長 休養室(2階) 271
総務係 休養室(2階) 272, 273, 277
整理係 会議室(4階) 274
運用係 従前(3階) 275, 276, 269
会議室 教官ラウンジ(2階)
(なおカウンターの窓口変更はP2の図を見て下さい。)

■附属図書館委員会報告

(第2回) 昭和47年9月12日
於本館

- (1) 教養図書購入費ならびに学生用図書購入費の配分について各々決定した。
- (2) 図書館維持費予算が評議会で承認された旨の報告があり、利用学部負担は各館単位で検討することとした。
- (3) 来年度以降本部経費・図書館維持費・学生部関係経費について再検討する委員会が設置されることとなった旨、館長より報告があった。

■東部地区図書委員会報告

(第6回) 昭和47年11月17日
於本館

- (1) 学生用図書購入費の配分を決定した。
- (2) 教養図書の第2次選定は継続購入図書をこれに充当することとした。
- (3) 後期延長開館について決定した。
- (4) 冬期休暇中の休館ならびに長期貸出について審議決定した。
- (5) 農学部移転に伴う農学部分館吸収のため、館内の模様替えについて審議決定した。

■人事異動 一追加一

<本館>

一退職一

整理係長 村松正夫(昭和47年3月31日付)

一併任一

整理係長 吉田玲子(昭和47年4月1日付)